

要 約

ドデカン酸メチルのオオミジンコによる繁殖試験

<試験条件>

- ・被験物質：ドデカン酸メチル
- ・試験生物：オオミジンコ(*Daphnia magna*)
- ・暴露期間：21日間
- ・試験濃度：1.00、0.500、0.250、0.125及び0.0625 mg/L(公比2.0)の5濃度区、助剤対照区及び対照区
- ・試験生物数：20頭／試験区(5頭／試験容器)
- ・試験用水：脱塩素水道水
- ・試験方式：流水式(換水率：48回/日)
- ・試験液の調製：供試試料を助剤(*N,N*-ジメチルホルムアミド)に溶解した試験原液を用いて調製
- ・試験液量：約3,520 mL／試験区(約880 mL／試験容器)
- ・水温：20±1℃
- ・照明：室内灯、16時間明／8時間暗
- ・給餌：自動給餌装置を用い、0.1～0.2 mgC×親ミジンコ数*／Lの濃度のクロレラが各試験容器に供給されるように調節し、連続的に給餌した。また、各試験区のクロレラの細胞濃度を暴露中2回測定した。
* 暴露開始時の頭数
- ・エアレーション：なし
- ・試験液中の被験物質濃度の分析：GC法(暴露開始時を含む暴露期間中4回)

<結 果>

- ・試験液中の被験物質濃度(対設定値)：暴露期間中 9.83～50.4%
- ・21日間EC50(50%繁殖阻害濃度)：0.220 mg/L(95%信頼限界；0.205～0.236 mg/L)
- ・親ミジンコのLC50(半数致死濃度)：0.252 mg/L(95%信頼限界；0.117～1.65 mg/L)
- ・LOEC(最小影響濃度)：0.213 mg/L
- ・NOEC(最大無影響濃度)：0.0814 mg/L
(上記濃度は、測定濃度の算術平均値に基づく値)